

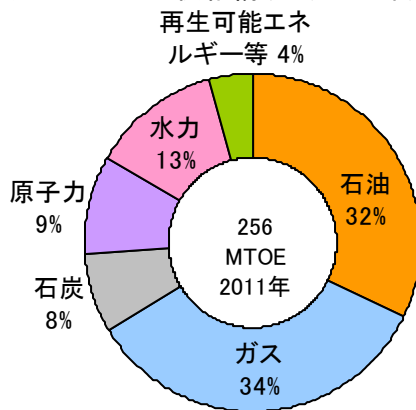
3-2 カナダ

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2011年) : 256 百万 TOE (日本の 0.56 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2011年) : 7.44TOE/人 (日本の 206%)
- (3) エネルギー自給率 (2011年) : 160%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 536.6 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 0.47 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 15.7CO₂ 換算 ton/人 (日本の 175%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 100 年超、天然ガス 12.4 年、石炭 97 年

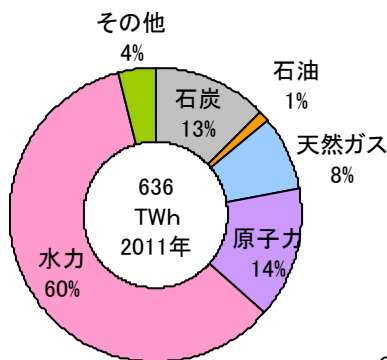
一次エネルギー供給構成 (2011年)



COUNTRY: Canada

(出所) IEA, Energy Balance of OECD countries 2012

電源構成 (2011年)



COUNTRY: Canada

(出所) IEA, Energy Balance of OECD Countries 2012

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- カナダのエネルギー政策は天然資源省 (Natural Resources Canada) が担当している。カナダのエネルギー政策の権限は連邦政府と州政府とに分かれている。連邦政府は主に全般的な枠組み、原子力、エネルギーの州際取引や国際協力に関わる政策の決定権を持つ。州政府は域内の天然資源、電力・ガス規制を管轄する。

(2) 基本政策

- カナダのエネルギー政策の3つの基本原則は、①市場指向、②司法の権限と州政府の役割の重視、③必要に応じて特別の政策目的を達成するために規制等の手段を用いて市場の中のプロセスに目標を持って介入することである。

(3) 最近の動向

- 2011年12月、カナダ政府は先進国に温室効果ガスの排出削減義務を課した京都議定書から正式に離脱すると発表した。批准国で離脱を表明したのはカナダが初めて。
- 2012年3月、Ontario州政府は電力固定価格買取制度 (FIT) の改定内容を発表した。太陽光と風力発電の買取価格が引下げられ、これまで隔年で実施されていた価格の見直し頻度は、毎年実施することに変更された。外国企業の参入障壁として批判されていたローカルコンテンツ割当義務は、新制度でも存続する。各プロジェクトに適用される買取価格の決定は、Ontario州電力公社 (OPA) との契約時に行われる。2011年10月の州議会選挙の争点にもなった FIT は、今般の見直しを終えて情報が整理された。
- 2012年12月、カナダ政府は外国の国有企業によるオイルサンド投資を例外的な場合にしか認めないとする新規則を打ち出した。
- 2012年12月、日本政府は、WTO が Ontario 州の FIT におけるローカルコンテンツ割当義務が不公正だとの日本側の主張を認めたと発表した。第一審で日本側が勝訴したことになる。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2012年4月、三菱商事と Shell、中国石油天然気集団 (CNPC)、韓国ガス公社 (Kogas) の4社はカナダ西海岸で LNG の合弁生産に乗り出すことで最終調整に入った。4社が同国内で開発するガスを集めて液化し、2020年にも日本などに供給する。年産規模は1,200万トンで総事業費は1兆円超。
- 2012年9月、JOGMEC はカナダ西部のシェールガス開発に参画する方針を表明した。鉦区の40%権益を取得する予定の国際石油開発帝石と日揮の現地法人 (IGBC) に400億円を出資する。JOGMEC の資金支援に係わる改正法施行後の第一号案件。

2. 主要エネルギー指標

(2011年)

(1) 一次エネルギー供給量		256 百万 TOE
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		7.44 TOE/人
(3) GDP 当たりの一次エネルギー供給		0.21 TOE/千\$
(4) エネルギー自給率		160 %
(5) エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)		536.6 百万 CO ₂ 換算 ton
(6) 一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)		15.73 CO ₂ 換算 ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	7.6 %
	石油	32.1 %
	ガス	34.3 %
	原子力	9.3 %
	水力	12.6 %
	再生可能エネルギー等	4.1 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-60 %
(9) 石油の輸入依存度		-110 %
(10) 輸入原油の中東依存度		17.7 %
(11) 原油輸入先	第 1 位	アルジェリア
	第 2 位	ノルウェー
	第 3 位	カザフスタン

(出所) (1)～(4)および(7)～(9)は IEA 「Energy Balances of OECD Countries」 2012、

(5)～(6)は IEA 「CO₂ Emissions from Fuel Combustion」 2012、

(10)～(11)は Industry Canada, trade data online